



泉のほとり

●受難節第二主日

今日の詩編「第六〇篇」

神と共に我らは力を振るいます。

神が敵を踏みじつけてくださいます。

人は神のことばで生きる

四十日間断食されたキリストは「石をパンにして食べなさい」という悪魔の誘惑に対し、「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つのことばで生きるのではない」とお答えになりました。これは「パン」が重要ではないという意味ではありません。人に最も重要なのはパンではなく、そのパンをくださる神さまを信頼し、そのお方に従って生きるということです。しかし人はパンを食べて生き長らえる体の命がすべてであるかのように、この世を生きています。その有様はまるでパンがあつて、そして神もいる、という感じですが、キリストは「何を食べるか、何を着るかと思わずらうな。神の国、神の義を求めなさい。そうすればそれらすべてが与えられる」と言われました。荒野で四十日間断食されたキリスト自身、この時パンのことは眼中になく、神の前におられたに違いありません。神の国を求めて生きる中ではパンのことを忘れてしまう心が、必要不可欠であることを思わされます。

次に悪魔は神殿の屋根の端にキリストを立たせ「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ」と、聖書には天使があなたをしつかり守ってくれと書いてあるではないかと唆しました。ほとんどの人が悪魔の切り取って提示したこの聖書のことばがどこにあるのかも知りません。悪魔は聖書の言葉をよく知っているのです。聖書の言葉を真付けとして、また信仰の事柄であるかのように思わせる形で人を騙し、誘惑してくるのです。そしてその結末は神さまを試す方向へと陥れるものです。キリストは「神を試してはならない」と言わ

れました。そして十字架の只中にあるときも、神のことばをご自分のために用いることはなさいませんでした。父を愛し、父のことばをご自分のいのちとしておられるキリストに、悪魔の騙す力は全く通じるものではなかったのです。

更に悪魔は世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて「ひれ伏して私を拝むなら、これをみんな与えよう」と言いました。「私を拝みなさい」と言うほど、人が見ると誰かが圧倒されるようなものを見せたと思います。人の心はただでさえ、この世において自分が高く上げられ、ほめられ、偉くなることを愛しています。そのような人間にはどれだけ魅力的に見えるものだっただろうか、と思います。キリストは「退け、サタン。あなたの手にある主を拝み、主のみを仕えよ」と書いてある」と言つて悪魔の誘惑を退けました。天の父のみを愛する心です。この世においての栄光は全く眼中になく、後に「人の子は仕えられるためではなく、仕えるために来た」と言われたとおりに、神に喜ばれる、天の父の御心を生きることにのみがご自身の御心でありました。その御心の行き着くところは、この世においての栄光ではなく、十字架という恥辱を受けることでした。しかし天の父はその御子を復活させ、ご自分の右の座に着かせられました。

人はパンだけで生きるものではありません。神の口から出る一つ一つのことばによつて生きるものです。神のことばを恐れ、敬い、私たちの命として愛し、この世における栄光にはなく、神から受ける誉れに望みをおいて生きたいと思えます。御子イエス・キリストを通して、私たちに豊かな慈愛を示してくださいました。父の御心を行うことのみを心を注いでいきたいと思います。

見守る者たち

私は神に感謝する・・・

テモテへの第二の手紙一章二節

死者たちには何も感謝することがない、
死んだ魂は感謝することができない。

あなたが私を死から起こしてください、
あなたが私に為されたこと、

今なお為されることを、
見せてください。

あなたの御業をひたすら

見守る者としてのみ

あなたは私を思知らずの端から引き上げ
私を死から目覚めさせる。

私はこの教会のために願う

我らを互いに分かつ壁を崩れさせ

兄弟姉妹のうちにあなたの命を

知ることを教えてください。

冷淡な者たちや怠惰な者たちが目覚め

死んだ魂が起こされ、讃えに至る姿を、
私にも見せてください。

ものを見ない者たちを見る者とし、
我らに見ることを感謝させてください。

我々が「感謝を述べる」とき、我々は、彼
の我々への顧みに対して、恩を負う者とし
て頌えつつ讃美し、我々が得た総ての良い
ものに対して、彼が気前よく与えてくれた
ことを感謝するのである。

カルヴァン「キリスト教綱要」

第三篇二〇章二八節

R・ポーレン 「祈る」より

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービス
と、圖書二階リズム室では、「ぶどうの会」
が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をしま
す。お昼はお介当です。

○昼食後、証しと祈りの会を行います。教会員
がこの一年間に受けた神さまの恵みを証しし
ます。どうぞお聴きください。

○証しと祈りの会の後、新年度役員候補者推薦
のための、各部会を行います。

○部会に引き続き、役員会の選考委員会を開き
ます。役員はカナルームにお集まりくださ
い。

○古村牧師は、明日二六日(月)から三月一日
(木)まで、沖縄で行われる説教セミナーで
奉仕するために出張します。

○紫園香音楽伝道師は、本日二五時から調布に
ある飯野病院マルシャリンホールでコンサ
ートの奉仕をします。お祈りください。

礼拝 讃美・感謝
聖なる主の美しさと

[17]

Worship the Lord in the beauty of holiness
詞：John S. B. Monsell, 1811-1875

MONSCELL
曲：William F. Sherwin, 1825-1888

1 せ い な る 主 の う つ く し さ と そ の さ く
2 お も に る す べ く の て し て う 主 が か か し っ と お の て る
3 こ こ ろ を つ か え て し て ひ か つ り と え る 主 の め
4 や み を か え て し て ひ か つ り と え る 主 の め

か え を あ お い で ま ご こ ろ も て み ま え
だ さ る あ う お し の さ な や み お お い も 世 身 の た
た け ん ん わ た し の の あ の り わ は き お お そ
ぐ ら ん と と と の の の の の の の の の の の の の の
に ち み 名 を た え あ が め とう
び じ も み ち び 主 の み よ め ぐ ぶ
は ち も み ち は け ち の れ よ ろ こ
は き え ね に み け ち る よ ろ こ ぶ び
ア - ー - ン

(♩=116)

聖書の会へどうぞ

2月28日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「一同となつてパウロを」

使徒18章12〜17節

黄允湜副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「姿を現された」

使徒13章26〜35節

黄允湜副牧師

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌讃2-1363番 やさしい日が

説教「永遠の命の水を」

聖書ヨハネ4章1節〜15節

説教者古村和雄牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌139番 341番

詩編第143編

説教「手を伸ばしてさわり」

聖書マタイ8章1節〜4節

説教者黄允湜副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21-17番

わたしのように

説教 「主イエスの真実」

聖書 マタイ17章1節～9節 (新約P32)

司式 山下純一 兄

説教者 ・ 聖餐司式 古村和雄 牧師

前奏曲 「イエスは常にわがなぐさめならん」 J.S.バッハ

○ 讃美歌21-17番

1. 聖なる主の美しさと その榮えを 節いで
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって
負ってくださる うれしき
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に仕えよう
とるに足らぬ 私の愛のわざも 身も心も
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 實さ
望みは湧き おそれば消え
胸に滴る よろこび アーメン

○ オルガンによる讃美

「私の歌は知られざる愛」 D.ワグ

○ わたしのように

1. わたしのように 小さな子でも
真心こめて 主をたたえれば
主の御心に かなうでしょうか
※ 感謝します 感謝します 感謝します 神さま
 2. 小鳥の声や きれいなもみじ
野菜 果物 海でとるもの
ふた親 兄弟 友達など
- ※ くりかえし
3. 荷ものよりも 罪やあやまち
おゆるしになる イエス・キリストを
くださいました 父なる神に
※ くりかえし アーメン

聖餐曲 「ジムノペディーNo.3」 E.ハイ

後奏曲 「フーガ ハ長調」 D.バックス

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 143番 354番

詩編 第60篇 (旧約P893)

説教 「一人も滅びないために」

聖書 マタイ18章15節～20節 (新約P35)

司式 山下純一 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 姉

前奏曲 「フーガニ短調 (ドリア調)」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 143番

○ オルガンによる讃美

「私の歌は知られざる愛」 D.ワグ

○ 聖歌隊による讃美

「とうとし聖体」 W.A.モーツ

とうとしマリヤの御子 イエスの聖体
世のため身をさき十字架につきて
ながるる血潮に罪をばあらいて
死をもて救いと ところ世の命を我らに給いぬ

○ 讃美歌 354番

聖餐曲 「いかにほかなき」 H.ハイ

後奏曲 「フーガ ハ長調」 D.バックス

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。